【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】令和2年9月24日(2020.9.24)

【公開番号】特開2018-181453(P2018-181453A)
【公開日】平成30年11月15日(2018.11.15)
【年通号数】公開・登録公報2018-044
【出願番号】特願2017-74840(P2017-74840)
【国際特許分類】
Ｈ０１Ｂ　1/22　(2006.01)
Ｃ０９Ｊ　11/04　(2006.01)
Ｃ０９Ｊ　163/00　(2006.01)
Ｃ０９Ｊ　201/10　(2006.01)
Ｃ０９Ｊ　201/00　(2006.01)
Ｃ０９Ｊ　9/02　(2006.01)
Ｈ０１Ｂ　13/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０１Ｂ　1/22　Ｄ
Ｃ０９Ｊ　11/04
Ｃ０９Ｊ　163/00
Ｃ０９Ｊ　201/10
Ｃ０９Ｊ　201/00
Ｃ０９Ｊ　9/02
Ｈ０１Ｂ　13/00　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】令和2年7月29日(2020.7.29)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
金属粉末と、樹脂バインダと、を含有し、導電性ペーストを調製可能な耐熱導電接着剤であって、
前記金属粉末の配合割合は、該金属粉末と前記樹脂バインダとの合計を１００質量％としたときに、９３質量％以上、１００質量％未満とされ、
前記導電性ペーストは、３００℃以上で熱処理されるものであり、
３００℃以上、金属粉末の融点以下の範囲で熱処理温度が上昇するにつれてダイシェア試験に基づく接着強度が上昇傾向を示し、且つ体積抵抗が低下傾向を示す耐熱導電接着剤。
【請求項２】
前記金属粉末は、銀粉末、金粉末又は銅粉末からなる請求項１に記載の耐熱導電接着剤。
【請求項３】
前記樹脂バインダは、変性シリコーン又はエポキシ樹脂からなる請求項１又は２に記載の耐熱導電接着剤。
【請求項４】
５００℃、１５分熱処理後の接着強度が１０ＭＰａ以上、又は体積抵抗が1×10^{-5}Ω・ｃｍ以下である請求項１～３の何れか１項に記載の耐熱導電接着剤。